

議会だより 吉野ヶ里

20号

平成23年
6月定例会



- 平成23年度第2回定例会 2
- 補正予算質疑応答 3-4
- 議案賛否状況 5
- 一般質問 6-19
- 町民の声・議会傍聴・編集後記 20

町立吉野ヶ里保育園夏まつり

【編集・発行】

佐賀県吉野ヶ里町議会

佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田321-2
TEL 0952-37-0338

【印刷】編集工房かよ 【発行年月日】平成23年7月28日

議会会議録がインターネットで見られます。

吉野ヶ里町のホームページ <http://www.town.yoshinogari.saga.jp/>
にアクセスし「吉野ヶ里町議会」「吉野ヶ里町議会会議録」をクリックしてください。

平成23年

第2回 6月定例会

第2回定例会は、6月9日から17日までの9日間の会期で開催された。町長の報告3件、14人の一般質問と条例改正など8議案を審議した。

定例会

今議会に提出された議案は、報告3件、専決3件と条例関係1件、補正予算2件、規約の変更に係る協議1件、備品購入契約の締結1件、全ての議案が可決された。

報告第1号

平成22年度吉野ケ里町一般会計※1繰越明許費繰越計算書について
12項目、総額2億8530万6千円が繰り越されました。主なものは
●住民生活に光をそそぐ交付金事業14万4千円（手話普及事業等）
●きめ細かな交付金事業493万円（夜間の健康指導事業など）

●町商工会商品券発行事業補助金204万円

●きめ細かな交付金事業4200万円（町道吉田・藤ノ木線道路改良工事）

（町道舗装修繕工事）

●社会資本整備総合交付金事業6763万円

（町道大塚ケ里・中核工業団地線改良工事）

●道路新設改良事業6304万6千円

（町道荻野・由手村線、町道川原・横田線、町道大曲・目達原線、町道吉田3号線）

●きめ細かな交付金事業2712万6千円

（小学校・中学校・CT整備事業）

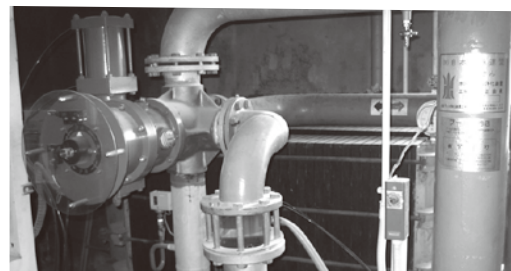
●住民生活に光をそそぐ交付金事業464万4千円

（吉野ケ里町公民館図書拡充事業）

充事業、図書管理システム導入事業）

●きめ細かな交付金事業105万2千円

（町民温水プール施設機械器具改修事業）



▲改修される町民温水プールの機械

●林業施設災害復旧費6945万8千円

報告第2号

平成22年度吉野ケ里町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書について

●公共下水道事業2626万3千円

報告第3号

平成22年度吉野ケ里町一般会計※2事故繰越し繰越計算書について

●防衛施設周辺道路整備事業 支出未済額778万3千3百円

事故繰越しで、補助事業対象外となり一般会計より支出。

専決処分

※3専決処分の承認を求めるため、3件の議案が提出された。

議案第23号（専決第1号）吉野ケ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金の額「35万円」を「39万円」に改め、

平成23年4月1日から施行。

議案第24号（専決第2号）吉野ケ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正により、吉野ケ里町の国民健康保険条例の課税額、国民健康保険税の減額に関する額の改正、平成23

年4月1日から施行。

議案第25号（専決第3号）平成22年度吉野ケ里町一般会計補正予算第9号（一般会計補正予算第9号）特別交付税の交付額決定並びに繰越明許費変更のため補正。

歳入歳出それぞれ1億7418万7千円を追加し総額8億4007万9千円とする。

二〇メモ

※1繰越明許費とは

平成22年度年度内に支出が終わらないとき、議会の議決を経て、翌年の平成23年度に限り使用出来る予算で、内容は3月議会で審議、可決済。

地方自治法施行令に、5月31日までに調整し、次の議会で報告しなければならいと定められている。

※2事故繰越しとは

避けがたい事故のため、年度内に支出が終わらなかった事業。

※3専決処分とは

本来、議会の議決決定を経なければならぬ事柄について、地方自治体の長（町長）が地方自治法の規定に基づき、議会の議決決定の前に自ら処理すること。

この処理を行ったときは、地方団体の長は、次の議会において議会に報告し承認を求めなければならないと規定されている。

議案第26号

吉野ケ里町税条例の一部を改正する条例
東日本震災に係る雑損控除額等の特例など、地方税法の一部改正による改正

議案第27号

佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に係る協議
天山地区共同塵芥処理場組合が平成23年7月31日に解散するため、佐賀県市町総合事務組合からの脱退手続きに伴う議決

議案第28号

平成22年度繰越し吉野ケ里町小中学校ICT環境整備に係る備品購入契約の締結について

備品購入
プラズマディスプレイ一体型電子黒板18台
ボード投影型電子黒板12台
電子黒板12台
契約金額
1409万4千45円
契約の相手方
佐賀市鍋島町株式会社学映システム



▲プラズマディスプレイ一体型電子黒板



▲ボード投影型電子黒板

補正予算 質疑応答

指名競争入札内容は

町内の指名業者数が少ないが、特別な機器であり、取り扱える代理店は限られる。

落札率が62.9%と低い、設計が甘かったのではないかと、他市町もバラツキがあり、見積もりを提出させ参考にした。

議案第29号

平成23年度吉野ケ里町

一般会計補正予算（第1号）歳入歳出それぞれ、2億8232万1千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ、72億7215万8千円とする。

東日本震災に関する予算

特別交付税313万7千円の内容は、東日本震災に伴う職員派遣の経費として交付された。

労働費県補助金125万4千円の内容は、被災地からの避難者の雇用対応分を含んでいる。

被災地からの避難者の雇用対応分を含んでいる。

ライスセンター改修補助

農業振興費80万2千円は、三田川中部ライスセンター施設改修補助、乙ノ馬手地区農機具格納庫補助。

農業基盤整備事業

農地費2億607万2千8百円の内訳は、戦略作物生産拡大関連基盤緊急水路整備、水門改修の予算で、2分の1は国補助。設計委託料700万円、工事請負費水路整備2億1732万8千円（20地区・延長5

は、戦略作物生産拡大関連基盤緊急水路整備、水門改修の予算で、2分の1は国補助。設計委託料700万円、工事請負費水路整備2億1732万8千円（20地区・延長5

5800円）

水門改修3640万円（13ヶ所）

※4コミュニティ助成事業

雑入の、コミュニティ助成事業補助金990万円の内容は、田手宿地区の集会所施設建設、総事業費1650万円に対する補助、町からは、地区からの申請後公民館補助分を予定。

田手宿地区の集会所施設建設、総事業費1650万円に対する補助、町からは、地区からの申請後公民館補助分を予定。

田手宿地区の集会所施設建設、総事業費1650万円に対する補助、町からは、地区からの申請後公民館補助分を予定。

二〇メモ

※4コミュニティ助成事業とは（財）自治総合センターは、自治宝くじの収入を財源に、コミュニティ活動を促進するため、様々な助成を行っている。今回は、コミュニティセンター助成事業で、対象となる総事業費の5分の3以内に相当する額が助成される。ただし、土地取得、既存施設の撤去などは対象外。

プレミアム商品券

商工業振興費補助金300万円は、義援金付きプレミアム商品券2回分6600万円の発行事業で、商工業が事業主体。プレミアム分600万円のうち県と町が各2分の1補助を行う。

義援金付きプレミアム商品券2回分6600万円の発行事業で、商工業が事業主体。プレミアム分600万円のうち県と町が各2分の1補助を行う。

義援金付きプレミアム商品券2回分6600万円の発行事業で、商工業が事業主体。プレミアム分600万円のうち県と町が各2分の1補助を行う。



さざんか千坊館 維持管理

観光費のさざんか千坊館清掃工事52万5千円は指定管理者の責任で行うべきではないか、指定管理者が行う分は明確にすべきである。

予算執行については、指定管理者と十分協議していく。

「さざんかの湯」

※5指定管理者公募

Q 温浴施設管理費報
奨金12万円は。

A 温浴施設の指定管
理者の契約が来年
3月で切れるため、プロ
ポーザルにより公募する
その時の指定管理者審査
専門アドバイザー謝金。
審査委員には税理士や
旅行会社職員などを予定
している。

二〇×モ

※5指定管理者とは

それまで地方公共団
体やその外郭団体に限
定されていた公の施設
の管理・運営を、平成15
年の地方自治法の改正
により、株式会社や財団
法人、NPO法人、市民
グループなど法人その
他の団体に代行させる
ことができる制度。



防災行政無線専用回線

Q 災害対策費電話料
15万8千円は。

A 防災行政無線の消
防署・三田川庁舎・
東脊振庁舎間の電話専用
回線料。

自治公民館

改修工事補助

Q 公民館費104万
7千円の内訳は。

A 自治公民館改修工
事補助金。

坂本公民館10万8千円、
下三津西公民館9万4千



下豆田公民館

円、下豆田公民館84万
5千円(事業費の3分の1
補助)。

地方債の額の変更

地方債(借入金)の変更

平成22年度末現在高
103億6571万1千
円

平成23年度末現在高見込
み額

105億258万3千
円

●議案第30号

平成23年度吉野ヶ里町
国民健康保険特別会計補
正予算(第1号)

歳入歳出そ
れぞれ、25
万1千円を追
加し、歳入歳
出の総額をそ
れぞれ、15
億6399万
9千円とする。
健康保険法
施行令の一部
改正に伴う、
出産育児一時
金の増額分な
どを計上。

議会改革をめざして活発な議論

平成23年3月

議員定数等議会改革特別委員会開催

本年3月議会におい
て、議員の定数や議会改
革を考えるための特別委
員会が発足した。

合併前、25名(三田川
町15名東脊振村10名)い
た議員は合併協議会で
15名と決められた。

平成21年12月に任意
の協議会が発足、定数に
ついて話し合いをしたが、
全会一致を前提としてい
たためまとまらなかった。

定数議会改革とは

吉野ヶ里町の例規集
(条例)には、合併協議で
決められた「廃置分合に
伴う議会の議員の定数」
で決められている。

本来は「議員の定数条
例」により定数が決まる
ので、これを作りたいと考
えている。

吉野ヶ里町に適した定
数について、議員全員で真
剣に話し合っていく。

議会改革はいまや全国
的な動きになり「議会基

本条例」などが制定され
つつあり、県内でも佐賀
市、嬉野市などすでに
制定されている。

内容は、議会での議論
を活発にすること、議
会の情報を住民の皆様へ
どの様に伝えていくかと
いうことである。

先進事例では、町長の
反問権や、議員同士の討
論、議会報告会、ホームペ
ージの開設、傍聴できる
会議の拡大、詳しい会議
資料等がある。

定数同様に、吉野ヶ里
町に適した「議会基本条
例」を議員全員で議論し
ていきたいと考えている。

今後、一歩ずつ議論を
積み重ねながら、より分
かりやすい議会を目指し
ていきたいと考えている。



6月

定例会

案件賛否状況

第2回(6月)定例会									
平成二十三年度吉野ヶ里町国民健康保険特別会計補正予算(第号)	可決	14	0	0	0	0	0	0	0
平成二十三年度吉野ヶ里町一般会計補正予算(第号)	可決	14	0	0	0	0	0	0	0
平成二十二年(繰越)吉野ヶ里町小中学校ICT環境整備に係る備品購入契約の締結について	可決	14	0	0	0	0	0	0	0
佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更に係る協議について	可決	14	0	0	0	0	0	0	0
吉野ヶ里町税条例の一部を改正する条例	可決	14	0	0	0	0	0	0	0
専決処分承認を求めることについて	承認	14	0	0	0	0	0	0	0
【平成二十二年吉野ヶ里町一般会計補正予算(第九号)】	承認	14	0	0	0	0	0	0	0
専決処分承認を求めることについて	承認	14	0	0	0	0	0	0	0
【平成二十二年吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例】	承認	14	0	0	0	0	0	0	0
専決処分承認を求めることについて	承認	14	0	0	0	0	0	0	0
【平成二十二年吉野ヶ里町国民健康保険条例の一部を改正する条例】	承認	14	0	0	0	0	0	0	0

※議席番号順

○=賛成

●=反対

欠=欠席

次頁から

一般質問に14人が激論

町政へ物申す

忘れられた井柳川の改修 中瀬尾橋からJR線(メガネ橋)までの改修計画は

【建設課長】 改修計画区域となっている



古川 勲 議員

問 中瀬尾橋からメガネ橋までの改修工事がなぜなされていないのか。

答 建設課長 護岸の未整備について、当時の整備状況は不明である。

問 中瀬尾橋から上流は、昭和50年代初頭の佐賀東部中核工業団地造成のとき、大規模な改修、JRのメガネ橋から下流は、洪水対策のため長年かけて改修がなされてきた。

答 改修計画はどうなっているのか。

答 建設課長 JR橋から下流については、改修計画区域となっている。

問 河川の中の堆積物の除去が、エビスライデから中瀬尾橋付近まで一度もなされていないが。

答 建設課長 この地区は実施してはいない。現地を確認し検討していく。

問 管理道路は、河川の両側は耕作放棄地が大半を占めている。管理道路の計画は。

答 建設課長 町道大曲・目達原線から200m程あり、下流については河川改修当時の資料はなく、今後、井柳川改修工事の要望をおこなっていく。



▲荒廃した河川の周囲

問 荒廃地を町として民間活力を利用した手立てを考えられないか。

答 町長 当時ほ場整備計画は、地権者の同意が得られず断念した。地権者の同意が得られれば、河川改修と合わせて管理道路の件も要望していく。

ライセンスセンターの現状は

問 5つのライセンスセンターの修繕引当金の状況は。

答 農林課長 利用組合の役員に伺ったが、返事がもらえなかった。利用組合の財産であるので、公表できないという事なのか。緊急時の修理の費用はどのようにしているのか。

答 農林課長 費用の25%を町に補助金の申請、残額はJAから借入されている場合が多い。



▲30数年間放置された河川の様子

答 農林課長 5月にJAやライセンスセンターの利用組合の役員等との検討会が開かれ、オペレーターの問題や機器の更新計画など現状の聞き取りを行い、盆前の検討会

問 昨年6月議会で町長は、今後カントリーエレベーターの件について、研究を深めて関係機関や農家の意欲を十分出していただきながら、行政として指導や助成も含めて考えて行くと答弁された。

問 今後、ライセンスセンター

問 どういう不測の事態になっても農家が困らないように。

答 町長 農家の理解のもとに進める。

老人 子供のため防犯灯設置を

【総務課長】 基準に合うように設置している



城島 敏行 議員

問 大人の目線での防犯灯でなく老人、子供のための防犯灯であるべきと思う。

答 総務課長 防犯灯の設置は夜間の犯罪の抑止や、町民の安心安全確保のために設置してきた。

問 防犯灯設置には、毎年10月に地区の要望を提出してもらい、新年度予算に計上している。

答 総務課長 照明度チェッカーはしていないが、社団法人日本防犯設備協会や警察庁の安心安全町づくり要綱で一定基準が定められており、基準に合うように設置している。

問 最近では、省エネ節電のために信号機もLED電球に切り替えられている。



▲萩原団地の街灯

問 吉野ヶ里町が促進しているネド事業や、バイオ政策を生かすためにも、防犯灯、公共施設のすべての電球をLED電球に切り替えるべきと思うが。

答 総務課長 これまで使用していた白熱電球は非常に寿命が短く、3ヶ月ごとに電球を取り替えていた。

問 現在では白熱電球の6倍寿命が長く電気料は4分の1で済む電球型蛍光灯に取り替えている。

答 LED電球は当初、非常に高価であったが、最近では値段も安くなってきた。

問 町営住宅の街灯、階段の電灯も防犯の抑制になっているが、電氣代はどこが支払っているのか。

答 都市計画課長 町営住宅の階段の電氣代は共益費で支払われている。



▲LED電球に切り替えられた信号機

問 緊急時の非常灯は、設置していないが、中の原団地・自達原東団地のエレベーターはバッテリーにより出口まで作動する。

答 ※バイオマスとは、森林の樹木や落葉、麦わら、家畜の糞などの有機物を工ネルギー資源として利用する石油代替エネルギーとしての役割を果たすものです。

問 街灯は、合併前は共益費で支払っていたが、合併後は町で支払っている。

東日本大震災を機に 地域防災計画の見直しを

【総務課長】 国・県の対応を注意深く見守りたい



多良 光英 議員

問 町地域防災計画の震災に対する現状の基本計画は、

東日本大震災を受け、実効性のある計画や総合防災訓練の実施も含め、災害に強い町づくりを進めるべきではないか。

答 総務課長 平成18年度に災害対策基本法に基づき吉野ヶ里町地域防災計画が策定された。

地震はマグニチュード6.7を想定。

平成20年度は水防法に規定された浸水想定区域と当該区域が浸水した場

合に想定される水深などを示した洪水ハザードマップを策定。

東日本大震災により、中央防災会議は防災計画の見直しを秋ごろまでに終えたいとしており、県も、総合防災統括監の新設や全庁的なプロジェクトチームを発足させるなど防災対策を進める体制

を強化し、県地域防災計画の見直しに着手。県独自で見直しができる避難計画などについては、本年度内に防災計画を修正する考えである。

本町の防災計画については、国や県の見直し内容を注意深く見守るとともに、情報収集に努めながら適切な事務処理を進めていく。



▲気仙沼市への支援活動報告より

問 避難場所に指定されるであろう公共施設に対する安全基準及び安全対策は、

答 総務課長 耐震の目安として震度6強を想

定。天井、窓などの落下防止は、定期点検などを適切に行い事故防止に努めていく。

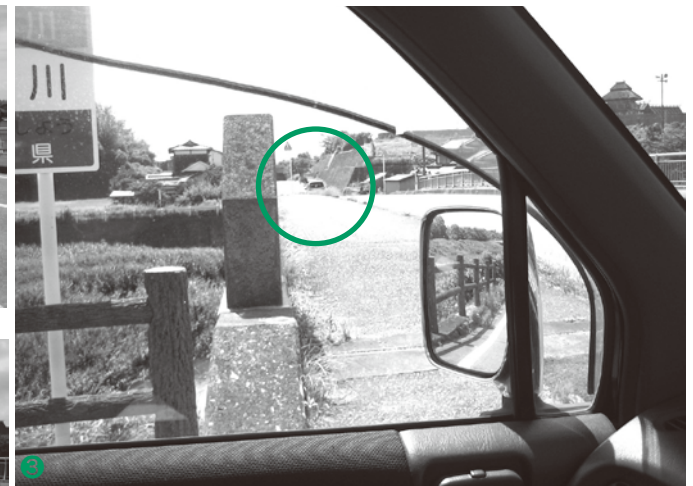
早急な安全対策を

問 県道吉田・鶴線の吉野ヶ里橋付近の安全対策として、カーブミラーの設置は、

答 建設課長 平成23年度の地区要望等を現地確認し、19基を選定し、その中で吉野ヶ里橋の北、南に各1基を計画している。

問 安全対策として、橋の架け替え、道路改良も視野に入れ県側に申請、要望をしていくべきでは、

答 建設課長 橋の架け替え、西側の道路高上げは、家屋があり、難しい状況である。



写真① 吉野ヶ里橋から東は見通せる。
写真② 吉野ヶ里橋から西は高低差があり、見通しが非常に悪い。
写真③ 写真②の位置で、自動車が走行している場合を見たとき、近づく車は橋の近くまで見えない(写真円内)が、橋を登りかけると急に見える。非常に危険である。

答 町長 橋から385号までの道路改良は、完全ではないが一度

改良されている。また、企業との絡みもあり今後、完全改良に向けて、県に要望していく。

文化センター建設場所 A案(大塚ヶ里南)に選定された訳は

【町長】 交通アクセスの良さと町の中心に近い所を重視した



伊東 和孝 議員

問 5月19日の全員協議会で、町長は文化センター建設地をA案(大塚ヶ里南)を選定された、C案(中副交差点南、D案(東背振庁舎東)と3案の候補地の中でなぜA案なのか。

答 社会教育課長 子どもや高齢者が利用しやすい、交通アクセス、また本町の中心より近い所を重視した。

問 A案の地区は、第一種の優良農地であり、計画によると、敷地2haとされているが民間に対しては、近年農地転用が厳しいなかで、公共事業は安易に出来るのか。

答 社会教育課長 公共性を持つ建物に關しては、他の行政自治体も行なっている。

問 建設費約21億のほとんどが、水源地域(北部地区)の振興基金である、この事を十分認識されていれば当然北部地区に建設するのが常識であると思うが、

答 町長 建設検討委員会、庁舎内でのプロジェクトチームアドバイザー部会等で検討した結果、総合的にA案を選定した。

問 この文化センター建設計画は、水源地域振興基金55億の事業メニューの一つであり、建設場所も学校北側に当時(平成15年7月)に議会と合位形成が出来ていたものである、当時のダム対策室長であった中村副町長の考えは、

答 副町長 旧東背振合併が見えない時であり過去に、そういう経緯があったのは事実であるが合併して、今の流れによつて総合文化センター建設計画、建設場所になったものと思う。



▲三田川児童館

問 町長 今回の文化センターには、図書館と児童館を併設する

答 町長 これは文部科学省が、ゆとり教育から脱却という国の方針がなされ、小学生が利用しにくくなった事もあって、吉野ヶ里町全体で一つあれば良いのではという事で決めたことである。

コミュニティバスが廃止された路線は どのように考えているのか

〔町長〕 一年後 声を聞き見直しを検討



古川 輝英 議員

問 コミュニティバスは、6月1日より3コースの新路線で運行されているが、コースの見直しは、どのようにして決定されたのか

答 企画課長 運行協議会を立ち上げ協議検討して決定。
1、行きも帰りも利用できる路線
2、昼間の通院や買物に対応できる路線
3、利用しやすい、分かりやすい路線
4、町内の観光地等を回る路線
5、65歳以上の無料券を

廃止し、身障者手帳等の所持者の方と子供は無料。それ以外の人は、1000円を徴収。
三田川庁舎を起点とするので、乗り継ぎ券を発行する。

問 今回、廃止路線となった地域で利用されていた交通弱者の方々は、新コースから離れており不便をきたしている。今まで、団地等の幼稚園児が利用していたが、廃止されたことにより利用できなくなった。復活はできないか。

答 企画課長 回らなくなつた地域については迷惑をかけている。運輸支局には、廃止ではなくバス停の休止の届出を行っているので復活はできる。
運行協議会では、再度

検証するとなっている。
答 町長 皆さんの声を聞き一年後には再度、見直しの検討を行う。

永山地区災害復旧について

問 昨年、永山地区において住宅や道路等に甚大な被害をもたらした一年が過ぎようとしている。未だに4世帯の方々が避難を余儀なくされている。
災害復旧の工事はどのように進んでいるのか。

答 農林課長 森林管理署の工事は10月までに中部農林事務所の工事は、8月中旬頃までに完了予定。町の工事は、60%の進捗で、12月中旬頃までに完了する。
答 建設課長 神崎土木事務所の工事は

砂防ダムを来年2月中旬に完成させ流路工を平成25年3月に完成予定。
被害が甚大なため、工事が長期化しているが、永山地区の方々に、どのように周知をしているのか。

問 農林課長 地区の方々に、4月末に町と県で工事の説明会を実施。
請負業者間で連絡会が設立され、毎月、工事状況の新聞を発行して情報を



▲工事が進む永山地区

伝えている。
問 2〜3年前から林道「九千部山横断線」において、災害復旧工事がなされず通行止めとなっているが。
答 農林課長 上峰町内で災害があり、通行止めとなっている。6月に予算化され工事が行われる予定。
問 3月に東日本大震災がおこり未曾有の災害をもたらしたが、町はこのような大災害時において避難者に対してどのような備蓄をしているのか。

答 総務課長 避難所となっている、きらら館、改善センター、中央公民館、ふれあい館に災害支援型の飲料水自動販売機を設置。2L入りペットボトルを120本を備蓄している。
1年半ごとに入れ替えを行う

指定避難所、役場の備蓄品	
【中央公民館】	毛布15枚
【ふれあい館】	タオルケット30枚、バスタオル30枚、敷きマット50枚、ランタン10個、発電式懐中電灯5個（日赤備蓄分）毛布9枚、バスタオル9枚、救急セット12個
【きらら館】	毛布28枚、枕10個、ランタン10個、懐中電灯8個、発電機1台
【三田川庁舎】	発電機4台、投光器3台、懐中電灯5個
【東脊振庁舎】	発電機4台、投光器2台

町においても、最小限のアルファ米等の非常食や飲料水の備蓄が必要である、どのように考えているのか。

答 総務課長 町内のコンビニエンスストアや大手飲料水会社等と防災支援協定を進めていく。
答 町長 町民がどういった町内の企業等と防災協定を結び災害にそなえているのか。

駅南口における雨天時の送迎車混雑への町の対策は

〔建設課長〕 国道34号線交差点改良を含めた検討が必要



吉富光三郎 議員

問 吉野ヶ里公園駅南口に雨天時夕方6時〜7時過ぎまでの送迎車が混雑し片車線は国道34号線附近まで列をなして大変危険であるが、町は現状を把握しているのか。

答 建設課長 現状は把握している。
駅北口は待機場所はあるが、駅南口は限られた場所しかない。将来的に駅南口、国道34号線交差点改良を含めた検討が必要である。

答 町長 吉野交差点改良を早期に終え、今後、駐車場を含めた考え方で、駅南交差点改良時に土地等の問題があるが、検討していく。

問 県道神崎北茂安線の町内区間は、国境がある訳でもないが上峰町内区間は40kmの速度規制ができ、なぜ吉野ヶ里町内区間は、今だ速度規制できないのか。

答 総務課長 以前から地区区長からの要望があり神崎警察署に40kmの速度規制をお願いした。その後進展がない為、幾度となく問合せをし、関係地区区長（吉田・上中村・下中村・菅根）の連名での要望書も出した。交通量調査、交安委員会への上申を終え、今年度中には完了する見込みである。

問 町道下中村・下堤北茂安線に合流する所で非常に交通事故等も多発しているが、交通安全の面からしても、なぜ一時停止の規制をできないのか。
答 総務課長 速度規制と同時に一時停止規制もできるように警察署に要望する。



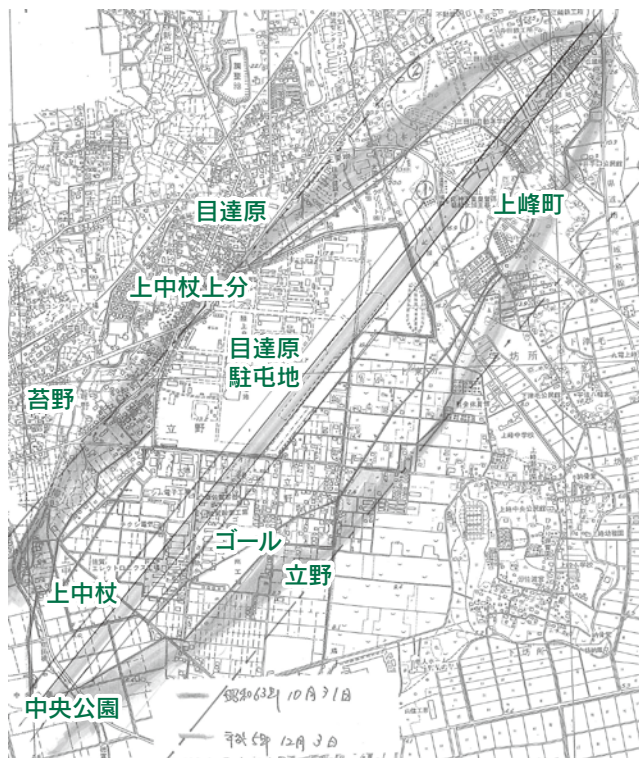
▲県道神崎北茂安線の町境

問 町道立野西南線狭小な道路だが非常時の際、消防車、救急車等の通行もできない道路だが道路改良整備計画等はあるのか。
答 建設課長 平成18年度から地区からの要望、平成21年度地元説明会、測量設計、平成23年度用地買収、平成24年度事業実施、の予定である。
問 障がい者支援対策について現在、町内障がい者の就労状況はどうか。
答 福祉課長 町内障がい者の雇用は、現在27名の方が就労されている。
問 各地で障がい者の農業就労支援を聞く。政府も2007年障がい者自立の為に重点施策実施5ヶ年計画に農業法人への雇用推進を明記した。
全国のハローワークを通じた障がい者の就職数2009年約4万5300件、農林漁業分野は2.4%、約1100件と少ないが前年度比4割増加している。
現状、複雑な作業が苦手の障がい者の為の作業を細分化して分担する方法をとられている。
答 農林課長 農業従事者の高齢化、

担い手不足の中、障がい者と農家の双方にメリットがあると思う。町としても、耕作放棄地・遊休農地対策の一つになると思うが。
答 福祉課長 今後、農業就労に関して関係課と協議を進めていきたい。
問 昨年10月、佐賀市唐人町にカフェがオープンした。知的障がい者8名を雇用、NP-Oたすけあい佐賀が運営されている。お客様の反応も「笑顔がいい」など、ピート客も増えている。温かい目で接し触れ合い助け合う事こそ、私は「心のバリアフリー」だと思う。
答 町長 危険性のない所での雇用、障がい者の方が笑顔で過ごせる町づくりに努力する。

目達原駐屯地周辺騒音対策第一種区域 18年間区域見直しがないが

【企画課長】 今後も防衛省等へ要望していく



吉野ヶ里町防音対策第一種区域図

問 目達原駐屯地周
辺騒音対策の推進
状況は、今後の防音対策
は、又滑走路南側住宅の
要望について、町はどう
しているのか。

答 企画課長 町で騒
音測定等実施し国
へ要望しつつある。



伊東 健吾 議員

**総合文化センター
計画について**

問 現有公共施設の
利用計画、子供交
流館、公民館の併設、役場
の分散化など未だ町の基
本構想が見えないが。

答 社会教育課長 今
後検討委員会等の
意見を聴き計画する。
また、現有施設につい
ても改築するなど利用計
画し利用を図る。

学校教育課、社会教育
課も文化センターへ移転

答 福祉課長 今回の児童館については児童館利用形態は残し放課後児童施設として使用する計画、また東脊振改善センターも改築し放課後児童施設として利用する。

問 公共施設の管理費について、合併後一向に減っていない、合併の目的は何であったか考えてほしい。

文化センターの調理室も、同じものが他施設に

答 農林課長 現在の5つのライスセクターが築28年〜36年になり、オペレーターの確保機械の更新など各セクターとも問題も多く、早急に対応する必要もある。

しかし、農家の負担がカントリーになれば大きくなる。総論賛成、金になれば、農家の声も小さくなる。農業情勢でもある今後J Aとも協議し、視察、研修も実施したい。

問 平成19年度と平成22年度を合わせ
て約700万円を使い新
エネルギービジョンが策
定されたが、今後10年間
のエネルギー実施計画は
企画課長 町では
ソーラー、エコカー
照明器具、街灯、等の事業
を実施、新エネルギービ
ジョン計画策定を生かし
町民、地域のことを考え
木質、竹等を利用したバ
イオマスエネルギーなど
導入も検討、今後町の為
の策も図りたい。

問 総合文化センタ―建設計画が住民の意向調査も行なわれずに進んでいるのが座視で、さらに、全町内を回り文書を配りながら住民の意見を聞くことができた。

集約すると正しい必要な情報も説明もなく住民を無視し、建設ありきで進められていることを危惧されていたが。

答 町長 町村合併協議での約束事項を尊重し進めている。

私が作らないと言うなら旧村民の方の反応はどうであったか、小川内の



立石 良雄 議員

ト調査も検討委員会でもうここまで来たから必要がないということである、建設場所も検討委員会でごく一番多いという書類があがってきている。

平成20年2月

問 町長の隠れ蓐的存在の建設検討委員会設置要綱が公布された。

町長は住民の意向調査もせず、住民不在の独裁行政である、私は希望し検討委員になり、建設の是非からの審議を主張したが建設のための審議会と数の力で一蹴された。

るから押し通すべきだと
発言。

これも住
民不在であ
る、他の委
員が賛否を
とるのは反
対との意見
で流れたが。
町長

答 私は
独断で進め
ていない、議
会の同意が
あれば住民
投票もでき
る。



▲東脊振幼稚園

幼稚園の民営化について

問 教育長は子育て新システムの説明会があれば出席したいと答弁されていたが。

答 学校教育課長 子育て新システムは

整備を見守っていききたい。

両園で年間約1億円
の赤字 民営化の検討は

問 町長は前議会で
民営化検討委員会
を設置すると言われたが
福祉課長 未だ立
ち上げていない

答 保育園は、建設後38年経つ
ている、本年度に耐震審
査を予定している、結果
により補強や建てかえも
考えられる。

問 私は伊達や酔狂
で毎回同じ質問は
していない。民意である
民営化を進める、検討委

答 福祉課長 今後 民営化を進めるに
 当たって行政改革推進委員
 会へ諮問をし答申を頂き
 進めて行きたい。

**町歌・音頭制定に
 470万円**

問 住民に親しまれ
 た東脊振音頭は旧
 村民の作詞作曲、幼稚園
 の歌は旧村長と学校先生
 作、金を使えば良い歌が
 できるのか。

答 町長 良い歌が歌
 い継がれていくよ
 うに専門家に依頼したい

5月11日、幼稚園や保育所など、未就学児を預かる名称を（仮称）こども園に統一することに決めたと発表している。

今後共希望する名称は今まで通り認めるが、両施設の機能統合の補助金や文科省の私学助成や厚労省の運営費は廃止子育て新システムに一本化、今国会中に法案を提出するとなっている。

員会を立ち上げると言いながら耐震テストなどと財源は住民の血税であるそのような支出は断じて許されない。町長も課長も頭を冷やし胸に手をあてて良く考えて頂きたい替では貴方達に税金を取り扱う資格がない、とか穀潰しと言われているみやき町では民営化が進み、運営事業者が土地、園舎を含め3億数千万円投



▲築36年の三田川中部ライスセンター

急を要する山間山麓農林業の再生対策 竹バイオマス・猪処理加工施設建設は

【農林課長】 どのように実践するか課題である



中島 正晴 議員

問 本町北部の山間山麓の農林業は、ここ20年来衰退の一途であり、衰退の最大要因は有害鳥獣である「猪」である。

元来、東脊振の特産物であった竹の子は、猪に荒らされ生産皆無に近い状態であり、水田も荒廃田や遊休田化が進行している状況である。

このまま山間山麓の農林業を放置すれば自然環境は破壊され、生態系に悪影響を及ぼすばかりか、土石流災害や洪水災害を引き起す要因になりかねない。

国土保全、自然環境の保存の観点からも行政の手厚い支援や有効な施策により、山間山麓農林業の振興を図るべきである。

竹林再生の条件は、竹の間伐や伐採であるが、現状では人力による伐採は不可能で重機による伐採しか方法がない。

伐採した大量の孟宗竹の処理をどうするのか大きな課題である。そこで孟宗竹を有効活用した竹バイオマス施設を建設したかどうか。

答 農林課長 今年2月「木質・竹質バイオマスエネルギーの利活用調査」報告書が策定されており、どのように実践に移すか課題である。八女市立花町でチップ肥料化を実践されており

研究してみたい。

問 猪による農作物被害金額は、平成14年960万円をピークに減少傾向とのことであるが、荒廃竹林、荒廃農地の増加によるもので被害が減少したのではない。

猪の捕獲頭数は、平成22年県全体で1万5904頭で平成18年比で1.6倍と増加傾向にある。



▲重機による孟宗竹伐採(基山町)

武雄市、佐賀市大和町に猪処理加工施設が建設されているが、捕獲頭数が約2000頭で一定の成果が上がっている。

本町の実績は140頭で単独建設は無理と思われるので、広域での建設を協議してはどうか。

答 農林課長 農林課長 神埼市との間で協議していたが、今年3月3

養基、鳥栖猟友会より広域での建設打診があり、各市町で協議中である。

問 昨年度は、猪の被害が、現況はどのようになっているのか。

答 農林課長 ライスセンターの現状は、別表の通りであるが、耐用年数35年とした場合、余す所1年から6年に迫っている。また、三田川中部センターで乾燥機更新約5000万円が計画されている。

問 カントリーエレベーター建設に、農家の意向はどうか。

答 農林課長 現在農協主催による「カントリーエレベーター建設検討委員会」が発足し、説明協議がなされている。

問 ベクター建設に、農家の意向はどうか。

答 農林課長 現在農協主催による「カントリーエレベーター建設検討委員会」が発足し、説明協議がなされている。

推進について、設立協議の不履行を厳しく追及していたが、推進されているのか。

答 農林課長 当時JA神埼郡農協で計画されていたが、農協合併等で頓座している。

問 行政として、近年建設された事例を参考に、建設のシミュレーションを示すべきではないか。

答 農林課長 前向きに検討したい。

吉野ヶ里町ライスセンター調べ

センター名	東脊振北部	東脊振南部	三田川北部	三田川中部	三田川南部
建設年度	昭和53年	昭和57年	昭和57年	昭和50年	昭和52年
組合員数	103人	33人	56人	85人	95人
農地面積	200ha	120ha	130ha	160ha	200ha
借金残高	4,047千円	14,382千円	13,329千円	0	1,393千円
固定経費(10a当)	1,000円	0	1,000円	1,200円	1,000円
離脱決済金(10a当)	40,000円	0	125,000円	30,000円	30,000円
利用料金(ウルチ)	900円	900円	1,680円	1,320円	1,140円

成果はどうか。

答 社会教育課長 基本設計のプロポーザルの中で設計者から提案を求めている。

答 教育長 小、中学校の比較をすると、東脊振小学校の水道水量が少ないので成果はあると考えられる。

問 設計者まかせでなく、本町にあったエネルギーの導入、この雨水対策は防火水槽的活用にもなる。

答 他にも、地中熱空調システムの導入による冷暖房代の削減や、太陽光をそのまま照明に使う光ダクトシステムの導入で、日中の電気代も軽減できる、自然エネルギーの館といわれる施設作りの考え方もあると思うが。

答 町長 雨水対策、地中熱、光ダクトシステムは、体に優しいエコ対策であり、提案のひとつとして検討したい。※他に町臨時嘱託職員の雇用条件について質問

リサイクルセンターでの売却代金 省エネ 節電策として町民に還元を

【町長】 県のエコ事業とタイミングを図り議会と協議する



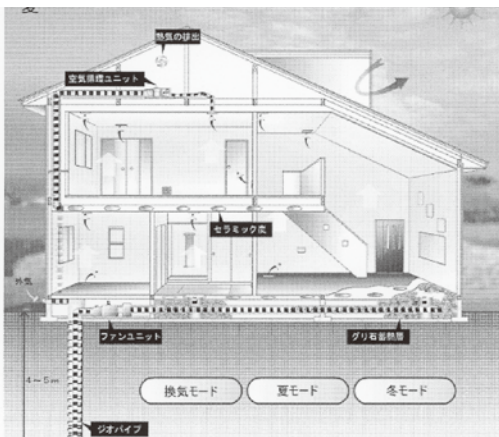
筒井佐千生 議員

問 3月11日の東日本大震災による原発事故により電力不足がさげばれ、これから本格的な夏を迎え、本町の取り組みは。

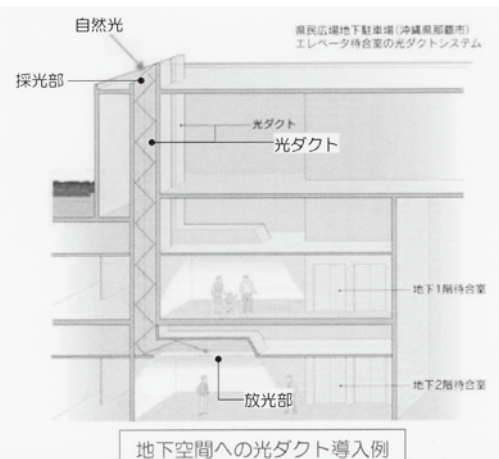
答 総務課長 5月9日よりクールビズを実施し、終期も1ヶ月延ばし10月迄としている。

答 環境課長 中央公園に、高効率型照明器具外灯16基、LED蛍光灯の導入、町広報による節電意識の高揚を図るための記事掲載を行う。

答 教育長 4月の校長会で20%削減を目指し取り組み、東脊振



▲地中熱システム



▲光ダクトシステム

問 維持管理等のコスト削減による自然エネルギー活用文化センター建設は、福島原発事故の影響もあり、太陽エネルギー、地熱、風力などの自然現象から得られる

問 維持管理等のコスト削減として、自然エネルギーの導入をもっと積極的に活用すべきと考えるが、また、東脊振小学校は雨水をトイレ等に活用する雨水対策を取り入れてあるが、その

答 財政課長 庁舎関連で20台程度設置しており、内部商品灯の消灯で15%削減できる。

答 環境課長 売却金は341万3833円、補助制度の取り組みがなされているのは5市3町である。

答 社会教育課長 太陽光発電の導入として100KWの方針を掲げている。

職員の人材育成は、 どのような研修を実施しているのか

【総務課長】 県の市町村課等へ派遣している



馬場 茂 議員

問 震災復興の為、
今後は交付金、補助金も絞られ町独自の財源を確保する事が重要になってくる。そういう観点から、民間企業（企画会社）のよつな所への研修は考えられないか

答 町長 職員の削減もあり、時間的余裕も少なくなっている。今後、実績等も検討しながら対応していかねければと思っている。

問 人事異動で次の異動までの期間が、僅か一年だったり、担当課の正副課長が同時に異動するような事が何故あるのか。

答 副町長 基本的には適材適所の人事を考え、結果的にそういう人事になったと思うが、指摘の状況にならぬように今後努めていく。

問 特急列車が一日上下各一本停車するようになったが、利用者を呼び込むための施策はあるのか。

答 副町長 基本的には適材適所の人事を考え、結果的にそういう人事になったと思うが、指摘の状況にならぬように今後努めていく。

問 上下各一本停車するようになったが、利用者を呼び込むための施策はあるのか。

答 副町長 基本的には適材適所の人事を考え、結果的にそういう人事になったと思うが、指摘の状況にならぬように今後努めていく。

問 上下各一本停車するようになったが、利用者を呼び込むための施策はあるのか。

答 副町長 基本的には適材適所の人事を考え、結果的にそういう人事になったと思うが、指摘の状況にならぬように今後努めていく。

問 上下各一本停車するようになったが、利用者を呼び込むための施策はあるのか。

カントリーエレベーターの取り組みは 農家や農協任せ 行政責任は

【町長】 問題については 声を高めて頂きたい



寺岡 正裕 議員

問 町内五ヶ所のライスセンターの問題と課題についてどのように認識しているのか。

答 農林課長 全体的に老朽化しており、修理し運営されている。オペレーター不足でもある。共乾については乾燥機の更新であったり、燃料タンクの修理、集塵施設の壊れなどがある。

問 他にも、玄米色別選別機の未導入により、カメムシ対策ができず町の米は取引業者から敬遠されている状況である。

答 行政のカントリーエレベーターへの取り組みは、農家や農協任せであり、これまでの議会答弁も「農家と農協が調整を図り申請されれば、役場は農林事務所に予算のお願いをする程度である。」



▲東脊振北部ライスセンター

問 行政としての取り組み姿勢が見えない。行政の政策として必要と思うなら、受け身でなく、町長を含め行政内で事前に協議し、会議出席すべきではないか。

答 農林課長 次回8月の会議には資料提出していきたい。

問 町長 利用されている声と役員との整合性がとれていない。問題については声を高めて頂きたいと言っている。農業政策の最終目標は農業所得の向上である。このことで農地が守られ後継者問題なども解決し、食糧事情

答 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

問 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

答 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

問 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

答 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。



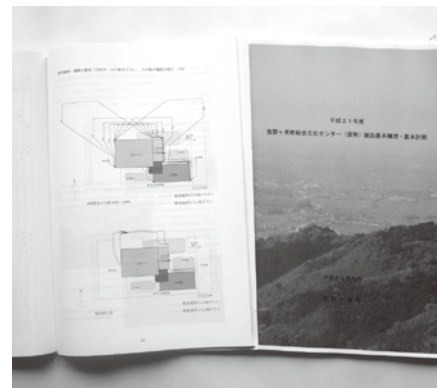
▲トム・ソーヤの森

問 町長 教育 問題行動が少数ではあるが起きている。各種団体に協力を頂き、今後も連携を取りながら巡回等も進めていく。

自然体験の場を

問 町長 ケガの問題等もあるが、トムソーヤの森や国営公園等を利用して、子供達を自然の中で育てていきたい。

答 町長 ケガの問題等もあるが、トムソーヤの森や国営公園等を利用して、子供達を自然の中で育てていきたい。



▲町民の理解得たのか
総合文化センター基本計画書

住民無視の総合文化センター建設計画

多くの町民は、聞かされているのか。

問 総合文化センター建設を疑問視され、財政的にも心配されている。あまりにも住民無視で進められている。今からでもアンケート調査を行い住民の意見を取り入れるべきではないか。

答 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

問 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

答 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

問 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

答 町長 建設検討委員会がアンケートを取らないという意見があったので取っていない。内容によっては、アンケートをしていかなければと思っている。

町民の声

voice of people

議会を傍聴しませんか

編集後記

田植えも終わり、田畑が緑のじゅうたんに包まれた今日この頃です。

今年は例年になく麦の収穫が遅れ、田植えまで休む暇もなく農家の皆さんは大変忙しい毎日でした。今は、「さなほり」も終り一息されていると思います。

6月定例会では、議長を除く議員14人全員が般質問を行い、中でも農業問題「カントリーエレベーター」に対し4人が質問、今後は、農家や農協の取り組みと同時に行政の力強い指導力が問われます。

早期実現に向け議会もしっかり対応していきます。

○議会広報特別委員会

委員長 多良 正裕
副委員長 吉富光三郎
委員 立石 良雄
手塚 隆美
筒井佐千生
伊東 和孝
中島 哲夫

議会議長宛に

防災行政無線に関する嘆願書が提出

吉野ヶ里町議会6月定例会開会中、議会議長宛てに嘆願書が提出された。

内容は、「今年4月より役場総務課より防災行政無線による放送が、朝の7時と夕方の7時30分に行われていますが、只の一回も放送内容が聞き取れません。」

放送前のチャイムだけはきれいに聞こえている状況です。

これでは、防災行政無線の体をなしていない。原因を究明し、早急に対策をとって頂きたい。」という主旨でした。

【内容の一部と住所、氏名は割愛しています。】

役場総務課より

議長は、役場執行部に嘆願書の内容について伝え、現在その対策が取られています。

防災行政無線は、緊急・災害情報や町のお知らせなどを町民の皆様にお伝えする手段として整備しました。放送は強風や雨などの気象条件、建物などの周辺環境に影響されやすいため、場所によって聞き取りにくい場合があります。

これまで、町民の方や区長さんから連絡があった分につきましては、現地で調整を行っておりま。今後とも、防災行政無線の放送にご理解とご協力をお願いいたします。



上=今年は、節電のため全員クールビズで行いました。
右=多くの皆さんが議会傍聴されました。

